

“堀田ハガネ”ってどんな会社？

株式会社堀田ハガネ概要説明資料

HOTTA
SERVICE CENTER



株式会社

堀田ハガネ



昭和三十一年

特殊鋼の卸問屋

“堀田ハガネ”の歴史は、

ここから始まった。



ユーザーの変化を鋭く読み、

ユーザーと共に歩み続けた五十五年。

それは振り返る過去ではなく、

未来へ踏み出す基盤——

HOTTA SERVICE CENTER

それが私たち、
株式会社堀田ハガネです。

“堀田ハガネ”は こんなことをしています。

製造・自動車・輸送・ITなど暮らしに欠かせない、
さまざまな分野の要となるハガネ。

その貴重な鋼を供給し、社会を支え未来を創る
特殊鋼流通トップクラス企業として、
業界をリードしています。

Point!

- 含ニッケル鋼というニッチで強みのある商品の在庫販売している。
- 切断加工・熱処理・鍛造・切削加工して販売もある。
- 同業者への販売は、50%を超える。
- 大手に負けない管理水準を持っている。



2010年9月 堀田ハガネは
ISO9001の認証
を取得しました。

明日のニーズを拓く 堀田ハガネのちから

含ニッケル鋼の スペシャリスト

含ニッケル鋼は、特殊鋼のなかでも特殊な鋼種で、造船・建設機械・工作機械、一部自動車部品にも使われています。日常生活の中では見えてこないの、なかなか分かりづらいかもしれませんが、各分野で必要不可欠な部品を担う鋼種なので、“ニッチな商品”というのがキーワードです。在庫販売では、当社は日本で一番在庫を持っているのではないかと自負しています。

提案型の活動を目指して

さらに、当社ではもうひとつの柱になる鋼種を模索しながら追加しています。現在は、ユーザ志向ということで、お客様のニーズを探りながら新規商品を開拓するために、営業マンを投入しています。

また、社内では各グループで改善活動を実施していて、新規開拓に成功した営業担当など優秀な個人やグループを年間で表彰するシステムを導入しています。

恐れず挑む“実践躬行”

当社では“実践躬行”というのは経営理念に据えていて、提案を基本とした活動をするようにしています。「お客様がこう言っているのだけどうでしょうか？」というのではなく、自分は「こうしたい」と考えているかどうか？という姿勢で臨んでほしい。ですから、指示待ちではなく自分の意見を持つてほしい。営業担当にしろ物流担当にしろ、失敗を恐れるのではなくまず行動してみる。考えながら行動しようというのを会社としては推進しています。



求めるちから

会社对社会の取引といえど、お付き合いの
始まりは人対人ですから、コミュニケーション

シヨンの取れる人を当社としては求めているし、
そういうコミュニケーション能力の

ある人でないと、この仕事は務まらないんじゃないか
かと思っています。



History

企業沿革

- | | | |
|-------|-----|--|
| 昭和31年 | 1月 | 大阪市西区に於いて堀田鋼商店として創業 営業開始 |
| 昭和34年 | 3月 | 資本金200万円で株式会社堀田鋼商店を設立 |
| 昭和36年 | 7月 | 株式会社堀田ハガネに商号変更、資本金400万円に増資 |
| 昭和41年 | 1月 | 資本金800万円に増資、九条3丁目に九条倉庫建設 |
| 昭和42年 | 5月 | 上記場所に本社建設、資本金1200万円に増資 |
| 昭和45年 | 8月 | 堺市山本町に堺倉庫建設、資本金2000万円に増資 |
| 昭和52年 | 2月 | 本社・営業所を西区本町に移転 |
| 昭和60年 | 11月 | 大阪サービスセンターを堺市臨海コンビナートに建設（九条と堺倉庫を集約） |
| 昭和61年 | 9月 | 本社をサービスセンターに移転 |
| 平成6年 | 4月 | 資本金4000万円に増資
(川本鋼材の資本参加で、川本鋼材グループの関連会社としてスタートをしています。) |
| 平成22年 | 9月 | ISO9001認証取得 |
| 平成23年 | 2月 | バンドソーPCSAW430導入 |
| 平成26年 | 2月 | システムバンドソーASPC430導入 |

Profile

概要

■会社名 株式会社 堀田ハガネ

■所在地 大阪府堺市西区築港新町3丁19-2

■TEL 072-244-0011 FAX 072-244-0330

■資本金 4,000万円
発行株式総数 80,000株

■年間取引高 約24億円

	売上高	経常利益
45期 (平成14年度)	1,236百万円	36百万円
46期 (平成15年度)	1,467百万円	71百万円
47期 (平成16年度)	1,659百万円	109百万円
48期 (平成17年度)	2,084百万円	183百万円
49期 (平成18年度)	2,339百万円	193百万円
50期 (平成19年度)	2,755百万円	233百万円
51期 (平成20年度)	2,828百万円	123百万円
52期 (平成21年度)	1,574百万円	23百万円
53期 (平成22年度)	2,150百万円	125百万円
54期 (平成23年度)	2,530百万円	120百万円
55期 (平成24年度)	2,160百万円	52百万円
56期 (平成25年度)	2,374百万円	99百万円

(平成26年4月現在)

■主な仕入先 川本鋼材(株)・大同興業(株)・中山通商(株)

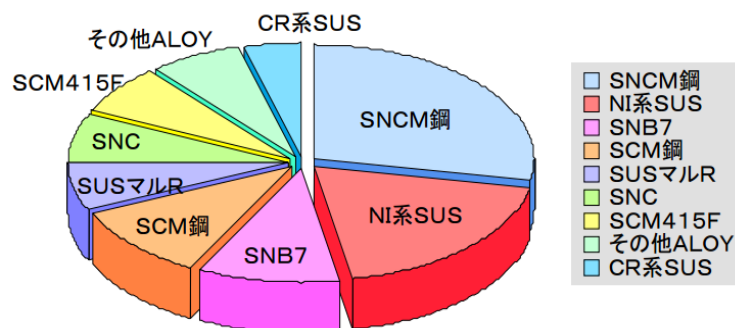
■主な取引メーカー

愛知製鋼(株)・大同特殊鋼(株)・(株)中山製鋼所・
JFEスチール(株)・関西磨鋼材(株)・大一特殊鋼(株)・
日本精線(株)・ヤマシンスチール(株)・
(株)東洋金属熱錬工業所・(株)ダイネツ・(株)虹技

■取引銀行

三菱東京UFJ銀行堺支店・みずほ銀行堺支店・
近畿大阪銀行九条支店・尼崎信用金庫上野芝支店

鋼種別売上高構成





“堀田ハガネ”は
含ニッケル鋼のスペシャリストとして、
可能性に挑んでいきます。